

西建協だより

165号

2008年
4月

西

建設業の労働災害ゼロをめざして

青梅労働基準監督署

署長

戎谷

俊幸

西多摩建設業協同組合並びに組合員の皆様には、平素から労働基準行政の推進につきまして多大なご理解とご支援を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、労働基準行政の最重要課題は労働災害の防止ですが、昨年の当署管内の労働災害の発生状況は、平成十八年に比し、全産業で一六・一％の減少、建設業においても一五・四％の大幅な減少となりました。これもひとえに皆様方の労働災害防止に対する不断の努力の賜と敬意を表するところでです。

一方、管内の死亡災害は、三件と十八件に比し一件減少しましたが、三件の内二件が建設業において発生しており憂慮

すべき状況にあります。

平成二十年度からは、第十一次労働災害防止五ヶ年計画がスタートします。

東京労働局のこの計画の目標は、第一に死亡災害、死傷災害の減少で、計画期間中、死亡災害、死傷災害いずれにおいても明確に減少傾向とさせ、最終年である平成二十四年において、第十次労働災害防止計画最終年である平成十九年に比し、死亡者数を二十％以上減少させること及び死傷者数を十五％以上減少させることです。

第二に、労働者の健康確保対策及び快適職場の形成で、過重労働による健康障害、職場のストレス等による健康障害等

「あきる野地区委員会」発足のご挨拶

委員長 上坂 健一

西建協だより一六三号（二月号）のお知らせにありましたように先般の理事会で承認され、この度「あきる野地区委員会」が発足することになりました。

また、第一回委員会におきまして委員長に選任されることがなりました。

あきる野地区には「あきる野市建設サービス協会」と言う協会がありました。平成十八年に解散となり二年余りが経ちました。その間、あきる野地区の業者間の交流はと言うと西建協の活動の中で機会があるぐらいでした。そんな交流の中で、やはり一つの纏りを持った形が必要ではないかと言う意見からこの度の委員会発足に至りました。

そんな若葉マークの、あきる野地区委員会の平成二十年初年度事業活動計画として次の三つの計画を立てることとなりました。

①災害支援対策の確立

現在災害時における地区行政との連絡体制がない状態であり、この確立を基に支援活動全体の確立を進めていきます。

②委員の資質向上、情報交換の促進

職業訓練体験、他ありますがリサーチ、検討中であります。

③地域貢献の促進

防災訓練への協力、稚魚の放流、他ありますがリサーチ、検討中であります。

作業関連疾患を減少させること及び災害性の腰痛等の職業性疾病を減少させることです。

当署としましては、この計画の下、今年度も労働災害の着実な減少に向けて、災害等が多発している業種を重点に諸対策を講じてまいります。特に建設業に對しましては、建設現場における墜落・転落災害が増加している現状を踏まえ、中小建設現場に対する着工時指導等の強化、現場及び本社等が連携した自主的なリスク低減活動の普及・定着等の指導により、墜落死亡災害の二〇％減少に向け取り組んでまいります。

組合員の皆様におかれましても、経営首脳者の強いリーダーシップの下、労働者も含め関係者が一体となって、また、本社と傘下の事業場がそれぞれの役割を果たし、組織的な安全衛生活動が「自主的」に、かつ、「継続的」に展開されるよう、その仕組みの構築と活性化を促進させるようお願い申し上げます。また、本年度におきましても、変わらぬご理解ご支援を重ねてお願い申し上げます。

地区委員の方々におかれましても年度末での委員会発足、何かと忙しいその中での活動計画のリサーチ等、現在のところ思うように進んでいませんが引き続き進めて行きます。

地域建設業においては、まだまだ厳しい景気状況のなか、建設業界を取り巻く環境も厳しくなる一方でコンプライアンス・CSRが問われています。そんな中で改めて地域の住環境・生活基盤の整備を担う役割を認識し、地区委員会としての「地元力」を活かした活動に取り組んで行きたいと思っております。

委員全員が「西建協・若手経営者の会」の会員でもあるので新しい視点・発想・創意を期待して、また組合員の皆様方のご指導、ご協力を得ながら、委員長として微力ながら委員会運営に務めさせていただきますので、よろしくお願いいたします。

4月1日加入の賛助会員名簿

(6社加入され、47社)

東生コン工業(株) 04-2964-2237
生コンクリート製造・販売

(株)エニックス青梅営業所 042-597-3231
建設機械器具・車両のレンタル

太平洋プレコン工業(株) 042-551-0863
コンクリート二次製品、製造販売

(株)タクト 03-3220-8400
基礎工事 杭、山留他

そうしんホール青梅 0428-32-4444
葬祭業（催事一般）

東日本建設業保証(株) 新宿支店
03-3340-2451

*賛助会員規約並びに賛助会員加入申込書は組合事務局にございます。ご説明申し上げますのでご検討宜しくお願い申し上げます。

◇お知らせ◇

◎平成二十年度通常総会開催

日時 五月十四日（水） 午後三時～ 三階会議室

懇親会を午後六時より開催

所・ 青梅市福祉センター ふようの間
会費 一人 五千円

3月事業報告

- 6日 年度末工事現場パトロール（西多摩分会）
- 7日 広報委員会164号編集発行
- 17日 総務委員会
- 19日 理事会
- 22日 第2回あきる野地区委員会

4月事業計画

- 4日 第3回あきる野地区委員会
- 11日 広報委員会165号編集発行
- 15日 総務委員会
- 21日 理事会

合格集中ゼミのご案内

日建学院 立川校

1級土木施工管理技術検定試験（学科）

（2日間の受験講習+公開模擬で集中学習）

：講習会会場は西建協・3階となります。

希望者は、組合事務局まで連絡下さい。



賛助会員PRコーナー No.3

創業30年

誠実 迅速をモットーに



有限会社 丸 善 産 業

〒190-1221 西多摩郡瑞穂町箱根ヶ崎西松原57-1

TEL 042-554-5929

042-557-6171

FAX 042-557-6181

有限会社 丸 善 産 業

代表取締役 小 林 廣 行

仲春の候、西多摩建設業協同組合の皆様にはますます御清栄のことと御慶び申し上げます。

日頃は大変お世話に成り厚くお礼申し上げます。

この地域で土木建設機械の修理、販売、レンタルの業務を始めて早30年……

これからも社員一同、力を合わせてお客様のニーズに合った、極めの細やかなサービスを心掛けて参りたいと存じます。

今後ともどうぞ、宜しくお願い申し上げます。



羽村橋より玉川上水の桜並木

◇ 特 集 ◇ 多摩川に掛かる橋 第16回



◎奥多摩橋

青梅で最も高い橋。このあたりは古くは鎌倉街道秩父道が通じて八王子方面にぬける交通の要所であった。渡しが連絡の手段であった。青梅鉄道が大正九年に二俣尾まで開通したこともあって近隣のむらむらから架橋の運動が始まり昭和11年に着工となった。近くに海禅寺、対岸にわたり吉川英治記念館・吉野梅郷などがあり行楽客の通行も多い。



上路式鋼アーチ橋です。奥多摩地域にある橋としては比較的古い橋で、深い溪谷に美しいシルエットを見せています。平成2年に歩道部分の拡幅がされましたが、赤い石が敷き詰められたカラフルな歩道が特徴的。車道はセンターラインがなく、かなり狭い。

主要部はアーチ構造ですが、橋脚より端の部分は下路トラスを上下に反転（左の写真）したような、魚腹トラスという珍しい構造になっています。橋の北側は単連ですが、南側は2連になっています。

橋種：道路橋 橋長＝177.2m

幅員＝4.5m

構造：アーチ橋・トラスト橋 上路 2主

下部：橋台2基 橋脚3基

施工年月：昭和14年3月（平成2年歩道整備）

水面まで38m

◎好文橋

好文橋は歩行者と自転車しか通れません。右岸に西中学校が設立され二俣尾・沢井地区からの通学には、多摩川の底にある危なげな板橋を渡っていた。橋の完成により父兄の悩みであった通学路の危険は解消した。後は、学校が好きになり、良い成績を修めるようお願いが「好文橋」と名付けた。

中学生の往来のほか、近隣の住民・吉野梅郷や国保保養所「おくたま路」への来訪者等の通行が多い。

橋種：人道橋

構造：アーチ橋 上路 直
鋼管 ヒンジ

橋長＝138.0m 歩道＝3.0m

施工年月：昭和50年3月

水面まで20m

（次回は、神代橋・和田箸です）



《 3月19日 理事会報告》

①報告事項

- ・建設会館3階会議室使用
（日建学院 立川校）
- ・委員会報告
- ・労働安全指導者選任
- ・その他

②審議事項

- ・賛助会員4社承認の件
- ・定款変更・役員改選の件
- ・19年度決算並びに20年度予算の件
- ・総会運営（資料確認・懇親会）の件